# 令和4年度　評価規準

| 教科 | 体育 | 学年 | 第6学年 |
|---|---|---|---|

| 単元名 | 単元の到達目標（小単元のねらい） | 単元のまとまりの評価規準 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 体ほぐしの運動 | ・いろいろな体ほぐしの運動を行い，仲間と体を動かす楽しさや心地よさを味わう。 | ・体ほぐしの運動の行い方がわかる。<br>・手軽な運動を行い，体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して，自己や仲間の心と体の状態に気付いたり，仲間と豊かに関わり合ったりすることができる。 | ・心と体の関係を理解し，友達と関わり合ったりするなどのねらいに応じた活動を選んでいる。<br>・様々な運動を行って比較することで，気付きや関わり合いが深まりやすい運動を選んでいる。<br>・運動を行うと心と体が軽やかになったことやみんなでリズムに乗って運動をすると楽しさが増したことなどを学習カードに書き，振り返りの時間に発表している。 | ・体ほぐしの運動に積極的に取り組んでいる。<br>・運動を行う際の約束を守り，仲間と助け合っている。<br>・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たしている。<br>・運動の行い方について仲間の気付きや考え，取組のよさを認めている。<br>・運動の場の危険物を取り除くとともに，用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。 |
| 体の動きを高める運動 | ・体の動きを高めるためのいろいろな運動の行い方を理解し，動きを工夫して体力を高める。 | ・体の動きを高める運動の行い方がわかる。<br>(ｱ)体の柔らかさを高めるための運動<br>体の各部位の可動範囲を広げる体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。<br>(ｲ)巧みな動きを高めるための運動<br>人や物の動き，または場所の広さや形状などの環境の変化に対応して，タイミングやバランスよく動いたり，リズミカルに動いたり，力の入れ方を加減したりする体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。<br>(ｳ)力強い動きを高めるための運動<br>自己の体重を利用したり，人や物などの抵抗に対してそれを動かしたりすることによって，力強い動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。<br>(ｴ)動きを持続する能力を高めるための運動<br>一つの運動又は複数の運動を組み合わせて一定の時間続けて行ったり，一定の回数を反復して行ったりすることによって，動きを持続する能力を高めることをねらいとして行う運動ができる。 | ・自己の体力の状況を知ったり，様々な動きを試したりすることを通して，体の動きを高めるためにどのような運動に取り組むとよいか，自己の課題を見付けている。<br>・体の動きを高めるために，自己に合った運動の行い方を選んでいる。<br>・どのようなポイントを意識して運動を行うと動きが高まるのかを見付け，それを生かした運動を工夫している。<br>・グループで工夫した運動の行い方を，他のグループに例示して見せたり，言葉で伝えたりしている。<br>・感想を伝える場面で，言葉のかけ方や並び方などの条件を工夫することで楽しく運動が行えたことを他者に説明している。 | ・体の動きを高める運動に積極的に取り組んでいる。<br>・運動を行う際の約束を守り，仲間と助け合っている。<br>・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たしている。<br>・運動の行い方について仲間の気付きや考え，取組のよさを認めている。<br>・運動の場の危険物を取り除くとともに，用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。 |

# 令和4年度　評価規準

| 単元名 | 単元の到達目標（小単元のねらい） | 単元のまとまりの評価規準 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| マット運動 | ・技に挑戦したり，技を組み合わせたり，仲間と動きを合わせたりする。 | ・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。<br>・自分の力に合った回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり，その発展技に取り組んだりすることができる。<br>・選んだ技を自己やグループで繰り返すことができる。<br>・技を選んでそれらにバランスやジャンプなどを加えて組み合わせたり，ペアやグループで動きを組み合わせて演技をつくったりできる。<br>〇開脚前転（更なる発展技：易しい場での伸膝前転）<br>〇補助倒立前転（更なる発展技：倒立前転，跳び前転）<br>〇伸膝後転（更なる発展技：後転倒立）<br>〇倒立ブリッジ（更なる発展技：前方倒立回転）<br>〇ロンダート<br>〇補助倒立（更なる発展技：倒立） | ・マット運動のポイントを理解し，自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。<br>・見付けた課題を解決するために，複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。<br>・グループの中で観察し合ったり，学習カードやICT機器を活用したりして見付けた，演技のこつやわかったことを，文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。 | ・マット運動の基本的な技や発展技，それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。<br>・互いの役割を決めて観察し合うなど，学習の仕方や約束を守り，仲間と助け合っている。<br>・器械・器具の準備や片付けなどで，分担された役割を果たしている。<br>・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり，課題の解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めている。<br>・けがのないように，互いの服装や髪形に気を付けたり，場の危険物を取り除いたりするとともに，試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。 |
| 鉄棒運動 | ・できそうな技に挑戦したり，できる技を組み合わせたりして，鉄棒運動を楽しむ。 | ・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。<br>・自分の力に合った支持系の基本的な技を安定して行ったり，その発展技に取り組んだりすることができる。<br>・選んだ技を自己やグループで繰り返したり，組み合わせたりすることができる。<br>〇前方支持回転（更なる発展技：前方伸膝支持回転）<br>〇片足踏み越し下り（更なる発展技：横とび越し下り）<br>〇膝掛け上がり（更なる発展技：もも掛け上がり）<br>〇前方もも掛け回転<br>〇逆上がり<br>〇後方支持回転（更なる発展技：後方伸膝支持回転）<br>〇後方もも掛け回転 | ・鉄棒運動のポイントを理解し，自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。<br>・見付けた課題を解決するために，複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。<br>・グループの中で観察し合ったり，学習カードやICT機器を活用したりして見付けた，演技のこつやわかったことを，文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。 | ・鉄棒運動の基本的な技や発展技，それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。<br>・互いの役割を決めて観察し合うなど，学習の仕方や約束を守り，仲間と助け合っている。<br>・器械・器具の準備や片付けなどで，分担された役割を果たしている。<br>・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり，課題の解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めている。<br>・けがのないように，互いの服装や髪形に気を付けたり，場の危険物を取り除いたりするとともに，試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。 |

# 令和4年度　評価規準

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 跳び箱運動 | ・いろいろな技に挑戦し，安定した跳び方ができるようにする。 | ・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。<br>・自分の力に合った切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり，その発展技に取り組んだりすることができる。<br>〇かかえ込み跳び（更なる発展技：屈身跳び）<br>〇伸膝台上前転<br>〇頭はね跳び（更なる発展技：前方屈腕倒立回転跳び） | ・跳び箱運動のポイントを理解し，自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。<br>・見付けた課題を解決するために，複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。<br>・グループの中で観察し合ったり，学習カードやICT機器を活用したりして見付けた，演技のこつやわかったことを，文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。 | ・跳び箱運動の基本的な技や発展技，それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。<br>・互いの役割を決めて観察し合うなど，学習の仕方や約束を守り，仲間と助け合っている。<br>・器械・器具の準備や片付けなどで，分担された役割を果たしている。<br>・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり，課題の解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めている。<br>・けがのないように，互いの服装や髪形に気を付けたり，場の危険物を取り除いたりするとともに，試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。 |

| 単元名 | 単元の到達目標（小単元のねらい） | 単元のまとまりの評価規準 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 短距離走・リレー | ・よりよい走り方を身に付けて，短距離走の日本記録に挑戦したり，みんなの力を生かす作戦を工夫して，チームの合計記録を縮めることに挑戦したりする。 | ・短距離走やリレーの行い方がわかる。<br>・スタンディングスタートから，素早く走り始めることができる。<br>・体を軽く前傾させて全力で走ることができる。<br>・テークオーバーゾーン内で，減速の少ないバトンの受渡しをすることができる。 | ・短距離走・リレーのポイントがわかり，自分の課題を見付けている。<br>・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。<br>・自分の能力に適した競走のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。<br>・短距離走・リレーのポイントや友達のよい動きなどを，学習カードに記入したり，振り返りの時間に発表したり，感想文を書いたりしている。 | ・短距離走・リレーに積極的に取り組んでいる。<br>・ルールやマナーを守り，仲間と助け合っている。<br>・用具の準備や片付け，計測や記録などで，分担された役割を果たしている。<br>・勝敗を受け入れている。<br>・課題を見付けたり，その解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めている。<br>・短距離走やリレーの場の危険物を取り除くなど，用具の安全に気を配っている。 |
| 走り高跳び | ・リズミカルな助走から力強く踏み切って高く跳び，自分の記録に挑戦したり，走り高跳びの競争をしたりする。 | ・走り高跳びの行い方がわかる。<br>・5～7歩程度のリズミカルな助走をすることができる。<br>・上体を起こして力強く踏み切ることができる。<br>・はさみ跳びで，足から着地することができる。 | ・走り高跳びのポイントがわかり，自分の課題を見付けている。<br>・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。<br>・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。<br>・走り高跳びのポイントや友達のよい動きなどを，学習カードに記入したり，振り返りの時間に発表したり，感想文を書いたりしている。 | ・走り高跳びに積極的に取り組んでいる。<br>・ルールやマナーを守り，仲間と助け合っている。<br>・用具の準備や片付け，計測や記録などで，分担された役割を果たしている。<br>・勝敗を受け入れている。<br>・課題を見付けたり，その解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めている。<br>・走り高跳びの場の危険物を取り除いたり，整備したりするとともに，用具の安全に気を配っている。 |

# 令和4年度　評価規準

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2種競技（走り幅跳び・ソフトボール投げ） | ・走り幅跳びとソフトボール投げの2種競技をして，記録に挑戦したり，得点競争をしたりする。 | ・走り幅跳びとソフトボール投げの2種競技の行い方がわかる。<br>【走り幅跳び】<br>・7～9歩程度のリズミカルな助走をすることができる。<br>・幅30～40cm程度の踏切りゾーンで力強く踏み切ることができる。<br>・かがみ跳びから両足で着地することができる。<br><br>【ソフトボール投げ】<br>・投げる手と反対の足を踏み出すことができる。<br>・踏み出す足に体重を乗せることができる。<br>・手を大きく振って投げることができる。 | ・走り幅跳びとソフトボール投げのポイントがわかり，自分の課題を見付けている。<br>・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。<br>・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。<br>・走り幅跳びとソフトボール投げのポイントや友達のよい動きなどを，学習カードに記入したり，振り返りの時間に発表したり，感想文を書いたりしている。 | ・走り幅跳びとソフトボール投げの2種競技に積極的に取り組んでいる。<br>・ルールやマナーを守り，仲間と助け合っている。<br>・用具の準備や片付け，計測や記録などで，分担された役割を果たしている。<br>・勝敗を受け入れている。<br>・課題を見付けたり，その解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めている。<br>・走り幅跳びやソフトボール投げの場の危険物を取り除いたり，それぞれの場の整備をしたりするとともに，用具の安全に気を配っている。 |

| 単元名 | 単元の到達目標（小単元のねらい） | 単元のまとまりの評価規準 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 水泳運動 | ・安全確保に繋がる動きができるようになる。平泳ぎやクロールで長く泳げるようになる。 | 【クロール】<br>・クロールの行い方がわかる。<br>・手を左右交互に前方に伸ばして水に入れ，水を大きくかくことができる。<br>・柔らかく足を交互に曲げたり伸ばしたりして，リズミカルなばた足をすることができる。<br>・肩のローリングを用い，体を左右に傾けながら顔を横に上げて呼吸をすることができる。<br>・左右の手を入れ替える動きに呼吸を合わせて，続けて長く泳ぐことができる。<br><br>【平泳ぎ】<br>・平泳ぎの行い方がわかる。<br>・両手を前方に伸ばし，ひじを曲げながら円を描くように左右に開き，水をかくことができる。<br>・足の親指を外側に開いて左右の足の裏や脚の内側で水を挟み出すとともに，キックの後に伸びの姿勢を保つことができる。<br>・手の動きに合わせて呼吸することができる。<br>・キックをした勢いを利用してしばらく伸び，続けて長く泳ぐことができる。<br><br>【安全確保につながる運動】<br>・安全確保につながる運動の行い方がわかる。<br>・顔以外の部位がしっかりと水中に入った背浮きの姿勢を維持することができる。<br>・大きく息を吸ってだるま浮きをした状態で，仲間に背中を押して沈めてもらい，息を止めてじっとして水面に浮上する浮き沈みを続けることができる<br>・タイミングよく呼吸をしたり，手や足を動かしたりして，続けて長く浮くことができる。<br>・息を一度に吐き出し呼吸することができる。 | ・学習カードや掲示物などを活用して，水泳運動のポイントと自分や仲間の動きを照らし合わせ，課題を見付けている。<br>・クロールや平泳ぎで進んだ距離や，浮き沈みの回数，背浮きの時間などを自分で決めて挑戦し，自分の課題を見付けている。<br>・自分の課題に応じた練習の場や仕方を選んでいる。<br>・自分で選んだ泳ぎ方で続けて長く泳いだり，決まった距離でのストローク数に挑戦したりするなど，自分や友達の能力に応じた記録への挑戦の仕方を選んでいる。<br>・ペアやグループで互いの動きを見合ったり，練習の補助をし合ったりすることを通して，見付けたポイントやお互いの課題に適した練習方法を伝えている。<br>・友達とお互いの動きのよさを確かめ合ったり称賛し合ったりしている。 | ・水泳運動が自己保全のために必要であることを生かし，クロールや平泳ぎをしたり，背浮きや浮き沈みをしたりするなどの水泳運動に積極的に取り組んでいる。<br>・自己や仲間の課題を解決するための練習では，練習場所やレーンの使い方，補助の仕方などの約束を守り，仲間と助け合っている。<br>ウ　水泳運動で使用する用具の準備や片付けなどで，分担された役割を果たしている。<br>・課題を見付けたり，解決方法を工夫したりする際に，仲間の考えや取組を認めている。<br>・プールの底・水面などに危険物がないかを確認したり，自己の体の調子を確かめてから泳いだり，仲間の体の調子にも気を付けるなど，水泳運動の心得を守って安全に気を配っている。 |

# 令和4年度　評価規準

| 単元名 | 単元の到達目標（小単元のねらい） | 単元のまとまりの評価規準 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ネット型(ソフトバレーボール)) | ・攻めの組み立て方を工夫して，ソフトバレーボールをする。 | ・ソフトバレーボールの行い方がわか　　る。<br>・自陣のコート（中央付近）から相手コートに向けサービスを打ち入れることができる。<br>・ボールの方向に体を向けて，その方向に素早く移動することができる。<br>・味方が受けやすいようにボールをつなぐことができる。<br>・片手，両手を使って，相手コートにボールを打ち返すことができる。 | ・誰もが楽しくソフトバレーボールに参加できるように，プレイヤーの人数やコートの広さ，プレイの制限，得点の仕方などの規則を工夫している。<br>・チームの特徴に応じた作戦を選び，自分の役割を確認している。<br>・課題の解決のために，自分や友達が行っていた動き方の工夫を，動作や言葉，絵図，ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。 | ・ソフトバレーボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。<br>・ルールやマナーを守り，仲間と助け合っている。<br>・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たしている。<br>・ゲームの勝敗を受け入れている。<br>・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり，話し合ったりする際に，仲間の考えや取組を認めている。<br>・ゲームや練習の際に，使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに，用具の安全に気を配っている。 |
| ゴール型(シートバスケットボール) | ・パスやシュートをしながら攻め方を工夫して，シートバスケットボールをする。 | ・シートバスケットボールの行い方がわかる。<br>・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。<br>・相手に捕られない位置でドリブルをすることができる。<br>・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。<br>・得点しやすい場所に移動し，パスを受けてシュートなどをすることができる。<br>・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。 | ・誰もが楽しくシートバスケットボールに参加できるように，プレイヤーの人数やコートの広さ，プレイの制限，得点の仕方などの規則を工夫している。<br>・チームの特徴に応じた作戦を選び，自分の役割を確認している。<br>・課題の解決のために，自分や友達が行っていた動き方の工夫を，動作や言葉，絵図，ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。 | ・シートバスケットボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。<br>・ルールやマナーを守り，仲間と助け合っている。<br>・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たしている。<br>・ゲームの勝敗を受け入れている。<br>・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり，話し合ったりする際に，仲間の考えや取組を認めている。<br>・ゲームや練習の際に，使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに，用具の安全に気を配っている。 |
| ゴール型(フリーゾーンサッカー) | ・パスやシュートをしながら，攻め方を工夫して，フリーゾーンサッカーをする。 | ・フリーゾーンサッカーの行い方がわかる。<br>・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。<br>・相手に捕られない位置でドリブルをすることができる。<br>・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。<br>・得点しやすい場所に移動し，パスを受けてシュートなどをすることができる。<br>・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。 | ・誰もが楽しくフリーゾーンサッカーに参加できるように，プレイヤーの人数やコートの広さ，プレイの制限，得点の仕方などの規則を工夫している。<br>・チームの特徴に応じた作戦を選び，自分の役割を確認している。<br>・課題の解決のために，自分や友達が行っていた動き方の工夫を，動作や言葉，絵図，ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。 | ・フリーゾーンサッカーの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。<br>・ルールやマナーを守り，仲間と助け合っている。<br>・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たしている。<br>・ゲームの勝敗を受け入れている。<br>・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり，話し合ったりする際に，仲間の考えや取組を認めている。<br>・ゲームや練習の際に，使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに，用具の安全に気を配っている。 |

# 令和4年度　評価規準

| 単元名 | 単元の到達目標（小単元のねらい） | 単元のまとまりの評価規準 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 表現運動・踊る！　思い出の〇〇 | ・生活や自然，社会のいろいろな題材の中から，印象的なできごとを見つけ，表したいイメージを感じを込めて踊る。 | ・表現「踊る！　思い出の〇〇」の行い方がわかる。<br>・表現「踊る！　思い出の〇〇」のいろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え，表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に表現したり，グループで簡単なひとまとまりの動きにして表現したりすることができる。<br>・題材から動きの変化や起伏の特徴を捉え，そこに感情の変化や起伏を重ねていくことができる。<br>・表したい感じやイメージを，素早く走る－急に止まる，ねじる－回る，跳ぶ－転がるなどの動きで変化を付けたり繰り返したりして，激しい感じや急変する感じをメリハリ（緩急・強弱）のあるひと流れの動きにして即興的に踊ることができる。 | ・表現「踊る！　思い出の〇〇」のポイントがわかり，自分の課題の解決策を考えたり，課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んでいる。<br>・表現したい「イメージを強調する」ために，差のある動きや群の動きなどで変化を付ける方法を選んでいる。<br>・表現したい「イメージを伝える」ために，一番盛り上げたい場面を明確にし，急変する場面や取り入れる群の動きを選んでいる。<br>・表したい感じやイメージが表現され，踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んでいる。<br>・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。 | ・表現「踊る！　思い出の〇〇」の表したい感じやイメージを表現する運動に積極的に取り組んでいる。<br>・表現に取り組む際に，互いの動きや考えのよさを認め合っている。<br>・表現にグループで取り組む際に，仲間と助け合っている。<br>・表現を行う場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たしている。<br>・活動する場所の危険物を取り除くとともに，仲間とぶつからないよう，場の安全に気を配っている。 |
| フォークダンス・世界のフォークダンス | ・「マイム・マイム」「コロブチカ」「グスタフススコール」など，世界の踊りの特徴を捉えて踊る。 | ・フォークダンスの行い方がわかる。<br>・外国の踊り特徴を捉え，基本的なステップや動きを身に付けて，音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができる。<br>・マイム・マイム（イスラエル）などのシングルサークルで踊る力強い踊りでは，みんなで手をつなぎ，かけ声をかけて力強くステップを踏みながら移動して踊ることができる。<br>・コロブチカ（ロシア）などのパートナーチェンジのある軽快な踊りでは，パートナーと組んでスリーステップターンなどの軽快なステップで動きを合わせたり，パートナーチェンジをスムーズに行ったりしながら踊ることができる。<br>・グスタフス・スコール（スウェーデン）などの特徴的な隊形と構成の踊りでは，前半の厳かな挨拶の部分と後半の軽快なスキップやアーチくぐりなどの変化を付けて，パートナーや全体でスムーズに隊形移動しながら踊ることができる。 | ・外国のフォークダンスのポイントがわかり，自分の課題の解決策を考えたり，課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んでいる。<br>・踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んでいる。<br>・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。<br>・ペアのグループやクラス全体で踊り，身に付けた踊りの特徴が出ているかを伝えている。 | ・外国のフォークダンスで交流したりする運動に積極的に取り組んでいる。<br>・フォークダンスに取り組む際に，互いの動きや考えのよさを認め合うこと。<br>・フォークダンスにグループで取り組む際に，仲間と助け合うこと。<br>・フォークダンスを行う場の設定や用具の片付けなどで，分担された役割を果たすこと。<br>・活動する場所の危険物を取り除くとともに，仲間とぶつからないよう，場の安全に気を配ること。 |

# 令和4年度　評価規準

| 単元名 | 単元の到達目標（小単元のねらい） | 単元のまとまりの評価規準 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 病気の起こり方 | ・病気は病原体，体の抵抗力，生活行動，環境などが関わり合って起こることを理解できるようにする。<br>・病気の原因について，病原体，体の抵抗力，生活行動，環境などの要因に分類して考え，説明できるようにする。<br>・いろいろな病気やその起こり方について関心をもち，課題の解決に協力して取り組むことができるようにする。 | ・体が冷えたときや，夜ふかしなどの健康によくない生活を続けていたときに，かぜの病原体が体の中に入るとかぜをひきやすくなる。このように，かぜは様々な原因が関わり合って起こることがわかる。<br>・病気は，病原体，体の抵抗力，生活の仕方，環境などが関わり合って起こることがわかる。<br>・病気の予防には病気の起こり方を知っておくことが大切であることを理解している。 | ・どんなときにかぜをひくのか，自分の経験を思い出して，自分の考えを他者に伝えている。<br>・かぜを参考にして，いろいろな病気はどんなことが関わり合って起こるのかを考え，説明している。 | ・日ごろ経験しているかぜなどの病気について，その原因を進んで調べようとしている。<br>・病気から体を守る様々なはたらきに関心をもち，資料等で調べようとしている。 |

# 令和4年度　評価規準

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 感染症の予防 | ・病原体が主な原因となって起こる病気の予防には，病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めておくことが必要であることを理解できるようにする。<br>・感染症の予防の仕方を考えたり，選んだりした方法がなぜ適切であるか，理由をあげて学習カードに書くことができるようにする。<br>・病気の予防について，課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に，進んで取り組むことができるようにする。 | ・病原体には多くの種類があり，体の中への入りからもさまざまである。インフルエンザや結核，はしか，風しんなどの病原体は，主に空気を通して体の中へ入ることがわかる。<br>・食中毒の原因となるノロウイルスなどの病原体は，病原体が付いた手や食べ物を通して体の中へ入ることがわかる。<br>・病原体の種類によって体に現れる症状も違うことがわかる。<br>・感染症を予防するには，病原体が発生するもとをなくすこと，移る道筋を断ち切ることなど，病原体を体の中に入れないようにすることが必要であること。また，体の抵抗力を高めておくと病気にかかりにくくなることがわかる。 | ・インフルエンザウイルスや食中毒の原因となる病原体がどのようにして体の中に入るのかを調べ，説明している。<br>・感染症を予防するには，どうすればよいのかを病原体の体の中への入り方などから自分の考えを他者に伝えている。 | ・インフルエンザや結核，食中毒，エイズなどの病気について，その特徴や感染の仕方，予防の仕方を進んで調べようとしている。<br>・自分の生活を振り返って，感染症を予防するためにこれから気をつけようと思うことやその理由を進んで考えている。 |
| 生活習慣病の予防① | ・生活習慣病を予防するには，運動，食事，睡眠などについて，健康によい生活習慣を身に付けることが必要であることを理解できるようにする。<br>・生活習慣病の原因となる生活習慣について考え，生活習慣病を予防する方法について説明することができるようにする。<br>・生活習慣病に関心をもち，学習した知識をもとに自分の生活を振り返るなど，進んで学習活動に取り組むことができるようにする。 | ・心臓病や脳卒中などの生活習慣病は，運動不足や，糖分，脂肪分，塩分の取り過ぎ，不規則な生活などが関係して起こることがわかる。<br>・生活習慣病を予防するには，適切な運動，栄養のバランスのよい食事，十分な休養・睡眠など，毎日の生活の仕方に気をつけて，健康によい生活習慣を身に付けることが大切であることがわかる。 | ・生活習慣病にはどんなものがあるのか，また，健康によくない生活と生活習慣病にはどんな関係があるのかを調べ，自分の考えを他者に伝えている。<br>・具体的な事例における生活習慣病を予防するための方法を理由とともに考え，記している。 | ・自分の生活を振り返って，生活習慣病を防ぐためにこれから実行したいことを進んで考え，日常生活に生かそうとしている。 |

# 令和4年度　評価規準

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 喫煙の害 | ・喫煙には，急性の害と慢性の害があることや受動喫煙により周囲の人々の健康にも害を及ぼすことを理解できるようにする。<br>・喫煙と健康について，害や体への影響を考え，説明できるようにする。<br>・喫煙の害について資料を見たり，生活を振り返ったりするなど，進んで学習活動に取り組むことができるようにする。 | ・喫煙は，肺や心臓，脳，胃などに悪い影響を与えること。また，一度習慣になると簡単にはやめられなくなり，長い間吸い続けると，肺がんや心臓病などにかかりやすくなることがわかる。<br>・たばこを吸い始めた時期が早く，吸っている期間が長いほど，体への害も大きくなるため，未成年の喫煙は法律で禁止されていることがわかる。<br>・たばこの煙には，たくさんの有害物が含まれており，たばこを吸わない人でもたばこの煙を吸い込むこと（受動喫煙）で，健康に害が生じることがわかる。 | ・たばこを吸うと肺にどんな影響があるのかを2枚の写真から考えている。<br>・たばこを吸うと体にどんな影響があるのかを調べ，すぐに体に現れる害と長い間の喫煙によって現れる害に分けて発表している。<br>・どんな場所が喫煙を制限したり，禁煙にしたりしているのか，その理由を考え，発表している。 | ・たばこを人からすすめられた場合には，声に出して，はっきりと断る意志と態度を示している。 |
| 飲酒の害 | ・飲酒は，判断力が鈍る，呼吸や胸が苦しくなるなどの影響がすぐに現れることや，飲酒を長い間続けると肝臓がんなどの病気の原因になることを理解できるようにする。<br>・飲酒の害や体への影響を考え，説明することができるようにする。<br>・飲酒と健康について関心をもち，課題の解決に協力して取り組むことができるようにする。 | ・酒類に含まれているアルコールは，脳のはたらきを低下させるため，酒を飲むと注意力や判断力がにぶり，事故やけがを引き起こすこと。また，呼吸や胸が苦しくなるなど体への影響も現れることがわかる。<br>・一度に多量の酒を飲むと急性アルコール中毒になって死亡することがあることがわかる。<br>・飲酒の習慣は，肝臓，脳，胃，食道，腸，心臓などに負担をかけて多くの病気を引き起こすことがわかる。<br>・体の発育する時期の飲酒は心身におよぼす害が特に大きいので，未成年の飲酒は法律で禁止されていることがわかる。 | ・飲酒を続けていると脳にどんな影響があるのかを2枚の写真から考えている。<br>・飲酒を続けていると体にどんな影響があるのかを調べ，すぐに体に現れる害と長い間の飲酒によって現れる害に分けて発表している。 | ・酒を人からすすめられた場合には，声に出して，はっきりと断る意志と態度を示している。 |

# 令和4年度　評価規準

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 薬物乱用の害 | ・薬物乱用は，1回の乱用で死に至ることがあり，乱用を続けるとやめられなくなって，心身の健康に深刻な害を与えることを理解できるようにする。<br>・薬物乱用の害や周りの人への影響を考え，説明することができるようにする。<br>・薬物乱用について，課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に，進んで取り組むことができるようにする。 | ・薬物乱用とは，医薬品を医療以外の目的で使ったり，シンナーなどの化学物質を本来の目的以外に不正に使ったりすることであり，1回の使用でも乱用になることがわかる。<br>・薬物の乱用は心身に重大な障害を引き起こし，1回の乱用でも死ぬことがあることがわかる。<br>・薬物には「依存性」があり，軽い気持ちで使うとやめられなくなること。また，乱用を続けると自分の心身の健康に重大な害をあたえるほか，犯罪や事故など，社会的な事件を引き起こし，周りの人にたいへんな迷惑をかけることがわかる。<br>・薬物の乱用は法律で禁止されていることがわかる。 | ・シンナーなどの薬物を乱用すると，体にどんな影響があるのかを調べ，発表している。<br>・薬物乱用のこわさについて考え，他者に伝えたり，発表したりしている。 | ・薬物には手を出さないという自分の決意とその理由を書いて，強い意志を示している。 |
| 地域の保健活動 | ・人々の病気を予防するために，保健所や保健センターなどでは，健康な生活習慣に関わる情報提供や予防接種などの活動が行われていることを理解できるようにする。<br>・地域の様々な保健活動の取り組みの中から，人々の病気を予防するための取り組みを選ぶことができるようにする。<br>・地域の保健活動について，課題の解決に向けての調べ学習や発表などの学習活動に，進んで取り組むことができるようにする。 | ・保健所や保健センターでは，病気の予防や人々の健康づくりのために，健康的な生活習慣に関わる情報の提供や予防接種など，様々な活動が行われていることなどから，私たちの健康は地域の様々な活動に支えられていることがわかる。 | ・健康のために自分が気をつけていること，また，学校で行われている活動について考えている。<br>・人々の健康を守るために地域の保健所や保健センターでどんな活動が行われているのかを調べ，発表したりしている。 | ・自分たちの住んでいる地域の保健所や保健センターでどんな活動が行われているのかを進んで調べようとしている。 |